

後期基本計画 平成31年度 基本施策方針書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策 : 06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 藤島洋介、保険年金課長 田沼政司、健康づくり政策課長 正木賢、地域包括支援センター所長 佐藤修子

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画では、「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。市民が幸せを考えるうえで最も重要な要素は「健康」です。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、病気や障がいがあっても個々の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるような環境を目指します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援体制づくりや取組みの推進を図ります。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	-
			-	-	-	-	-	0.0
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位	58.5	60	61.5	63	65	65	-
			-	-	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	-
			-	-	-	-	-	0.0
2	暮らし 02060200 安心して子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 単位 %	83.2	83.2	83.2	83.2	83.2	83.2	-
			-	-	-	-	-	0.0
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 平成31年度 基本施策方針書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 藤島洋介、保険年金課長 田沼政司、健康づくり政策課長 正木賢、地域包括支援センター所長 佐藤修子

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

- ・自分が心身ともに元気と感じている人の割合は、年々増加傾向にあります。健康づくりに取り組んでいる人の割合は横ばいとなっており、望ましい生活習慣の定着のために、健康づくりの実践、継続するための支援が必要です。
- ・子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合は、年々増加しており、今後も妊娠・出産・子育ての不安が軽減され、安心して子育てができるような支援を行っていくことが重要です。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・健康志向が高まる一方、自動車社会による運動不足や、外食産業の発展に伴うエネルギーの過剰摂取、ストレスを抱えやすい社会環境等、健康づくりを進めるための環境が損なわれてきています。
- ・少子高齢・人口減社会において高齢になっても地域で元気に暮らせるよう健康を維持することは、生きがいや医療費の抑制などにも影響します。
- ・少子、核家族化により、育児が世代間で伝達されにくく地域との関わりも希薄になってきています。また、若年や未婚、精神疾患を持つ妊婦等支援が必要な事例の増加や子どもの発達に関する相談も増加傾向にあり、育てにくさを感じる親が増えていることが伺えます。

(3) 政策との関連性

- ・健康は、自分らしく笑顔で暮らすための大切な条件の一つです。また、市民が幸福を考える上で最も重要な要素も「心身の健康」です。
- ・市民一人一人が健康に関心を持って「自分の健康は自分で守る」を意識し、主体的な健康づくりに取り組むことや安心して子育てができることが政策である「健やかで笑顔にあふれるまち」の実現につながります。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・地域保健計画の後期計画の推進のため、中間評価で課題となった脳卒中死亡率の減少に向けて、高血圧予防や重点取り組みの運動、栄養、休養、歯周病予防、喫煙による健康影響について情報提供を行い、市民一人一人の健康づくりの意識を高めます。※滝沢市健康づくり宣言行動指針の啓発
- ・各種健（検）診の受診率向上に向けて、前年度の評価を受けて、新たな受診啓発を推進します。
- ・壮年期、中年期の若い世代への健康教育を実施します。
- ・安心して子どもを産み育てることができるよう、母子保健計画の推進とともに、子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠期からの早期支援、乳児全戸家庭訪問事業等を実施します。
- ・育児支援事業の継続とともに、新生児聴覚検査の費用助成の円滑な実施を図ります。また産前産後の支援の充実を目指し、産婦健康診査の費用助成や産前産後サポート事業、産後ケア事業の実施について、情報収集・検討を進めます。
- ・次世代育成として、小中学生を対象にした思春期保健事業を継続し、自他を大切にすることを育みます。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・地域保健計画後期計画の推進のため、中間評価で課題となった脳卒中死亡率の減少に向けて、高血圧予防や重点取り組みの運動、栄養、休養、歯周病予防、喫煙による健康影響について情報提供を行い、市民一人一人の健康づくりの意識を高めます。※滝沢市健康づくり宣言行動指針の啓発
- ・壮年期、中年期の若い世代への健康教育を実施します。
- ・子育て世代包括支援センターの円滑な運営と推進、新生児聴覚検査費用助成事業の円滑な実施、産前産後の支援についての検討を進めます。

(3) 基本計画期間及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・地域保健計画の推進及び滝沢市健康づくり宣言の行動指針の啓発
- ・壮年期、中年期の若い世代への健康教育の実施
- ・各種健（検）診の受診率向上に向けた、新たな受診啓発と推進
- ・母子保健計画の推進と子育て世代包括支援センターの円滑な運営と推進
- ・ハイリスク妊産婦に対する相談支援の強化
- ・新生児聴覚検査費用助成の円滑な実施
- ・産前産後の支援についての検討

